

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 27 年度期末）

(ア) 取組実績の評価（１）：事業の実施状況の評価

評価項目

1 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	マンション住民へのアンケートや情報発信などにより、地域活動に意欲のある住民の発掘につながっている。また、会計・広報等の支援により、適切な組織運営が継続されている。

(イ) 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等の評価

評価項目

1 自由提案による地域支援の実施状況

2-1 スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制

2-2 フォロー（バックアップ）体制等

3 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
A	区関連事業への参加を通じ課題把握するほか、情報共有にも努めることで、地域の課題に応じた迅速、適切な支援体制が実現できている。

(ウ) 取組効果の評価：目標等の達成状況の評価

評価項目

1 アンケート調査

2 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」の達成状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」の達成状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」の達成状況
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」の達成状況

3 その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
A	概ね着実な進捗を図られており、地域からも運営・会計支援などが、活動の役に立っていると高い評価を受けている。

(エ) 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

1 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	運営委員会への出席、アンケート調査、区関連事業への参加など多様な手法で地域課題、成熟度を把握できている。
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	A	地域ごとのニーズや成熟度に応じた支援が実行されている。
(3) 区のマネジメントに合った取組	A	区の特性を踏まえたマンション住民へのアプローチなど、区と連携して取り組んでいる。

2 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	A	会計・広報支援など着実に成果を上げており、地域からも期待されている。また、接点の少ないマンション住民へのアプローチも、新たなニーズ把握につながり、高く評価できる。

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない